



# 財産収支状況書

## 記入例(法人等の場合)

XX年 7月 1日

### 1 住所・氏名等

住所所在地	三重県津市西丸之内X-X-X	氏名	収税建設株式会社
-------	----------------	----	----------

### 2 現在納付可能資金額

現金及び預貯金等	預貯金等の種類	預貯金等の額	納付可能金額	納付に充てられない事情
現金		80,000円	80,000円	運転資金 生活費 その他
〇〇銀行△△支店	普通	70,000円	0円	運転資金 生活費 その他
△△信用金庫××支店	当座	120,000円	0円	運転資金 生活費 その他
株式会社△△上場株式100株		100,000円	100,000円	運転資金 生活費 その他
現在納付可能資金額(A)			180,000円	

満期日が1週間以上先の定期預金は下の「5 財産等の状況」「(2) その他の財産の状況」に記入します。

分割納付金額が増減する場合は、その理由を記入します。

### 3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

法人等	見込金額	個人	見込金額
収入		収入	
売上	1,520,000円	給与・報酬(手取)	円
		年金・事業所得(1か月)	円
①収入合計	1,520,000円		円
支出		支出	
仕入	760,000円	食費	円
従業員給与	170,000円	被服費	円
役員報酬	250,000円	水道光熱費・通信費・新聞代(ネット料金含)	円
家賃等	70,000円	こづかい・交際費等	円
諸経費	100,000円	保険掛金	円
借入返済	95,000円	その他ローン(事業用を除く)	円
		医療費・教育費・養育費	円
		家族等の収入・家族等からの借入等(マイナスで記入)	円
②支出合計	1,445,000円	②支出合計	円
③納付可能基準額(①-②)	75,000円	③納付可能基準額(①-②)	円
		生計を一にする家族の人数(申請者本人を含む)	人

申請者が法人等で事業を行っている場合は法人等にチェックを入れます。

それぞれの金額を記入します。

### 4 分割納付計画(B)

月	分割納付金額	増減理由
7月	75,000円	
8月	25,000円	建設業免許の更新費用を要するため
9月	75,000円	
10月	75,000円	
11月	155,000円	貸付金の回収による入金(80,000円)があるため
12月	45,000円	+延滞金

「徴収猶予申請書」の猶予を希望する期間の終期と同

最終回は「+延滞金」と記入します。

※分割納付金額は、3の③の欄を基に記載し、申請書の「納付計画」欄へ転記

売掛金や貸付金等今後収入になるものについて記入します。「種類」には売掛金、貸付金、未収金等の種類を、「回収方法」には現金、振込、手形、小切手等の方法を記入します。

### 5 財産等の状況

#### (1) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	売掛金等の額	回収予定日	種類	回収方法
A建築株式会社	500,000円	XX・8・25	売掛金	振込
有限会社〇〇工務店	180,000円	XX・9・10	売掛金	小切手
株式会社XXホーム	80,000円	XX・11・25	売掛金	現金

満期日が1週間以上先の定期預金はその他(保険等)に記入します。

#### (2) その他の財産の状況

不動産等	会社事務所マンション(津市西丸之内X-X-X-XXX号室) 資材置き場用土地(XX県〇〇市△△町XXX)	国債・株式等	株式会社(関連会社) 未上場株式1株
車両	業務用車両1台 (ミニバン 三重330 年XXXX ローン有り)	その他(保険等)	〇〇生命保険 A銀行〇〇支店(定期預金・10万円・満期日×△年X月)

#### (3) 借入金・買掛金の状況

借入先等の名称	借入金額	返済予定日	追加借入の可否	担保提供財産等
〇〇リース	800,000円	X△年 5月	可(否)	
〇〇銀行△△支店	9,600,000円	△△年 5月	可(否)	会社事務所(津市西丸之内X-X-X)、資材置き場用土地(XX県〇〇市△△町XXX)

借入のために抵当権を設定しているもの等、担保として提供している財